Mwe シニア会講演会開催報告

講演会タイトル:NPO法人エルダーシステムのご紹介

"定年退職後の生き甲斐探しの旅"

講演者: NPO 法人エルダーシステム 理事長 杉村 至

日時: 平成 26 年 12 月 12 日 午後 3 時 ~ 5 時

場所:パシフィコ横浜展示会場 E205 会議室

参加者:16名

内容: 2008 年 NPO 法人エルダーシステムの設立から今日に至るまでの活動内容の紹介と 今後の展望と課題について、分かりやすくご講演頂いた。

また Mwe シニア会との連携についても双方で前向きに検討することにした。 主な質疑について下記に記す。

質疑応答:柴富会員

Mwe シニア会会員のバックグランドは大手企業の技術者が大部分で中小企業あるいはベンチャー企業には技術移転あるいは支援に向かないニッチな分野が多い。一方中小企業等においては特許取得の意識が薄くまた取得手続きもどうしていいかわからないところが多い。そこで特許出願経験のある Mwe シニア会会員がサポートできるのではないか。

影山会員

北九州テクノサポートは、北九州市内中小企業の事業活性化の為 20 年前に設立され 現在もさまざまな形で、域内企業を支援している。長く継続するには、行政からの 支援と大学等との連携が最も重要であり、後継者も育てることが出来る。

井下会員

つくば市では家庭菜園愛好家の為に、生産物主として目面しい野菜を流通に乗せる 支援を大規模に行っている。いわゆる作り過ぎ野菜を販売ルートに乗せること、専 門家(農家)による技術支援等である。

平井会員

販売支援に一度コンタクトしたが、商売毛が強すぎ直ぐに中止した。成果より報酬が先に出てくる傾向が強い。

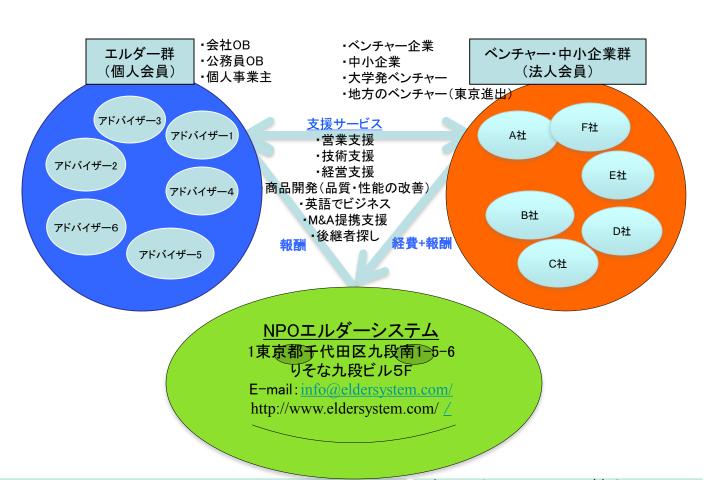
作成 井下 以上



NPO法人エルダーシステム

NPOエルダーシステム(ES)は、エルダーの持つ豊富な知識・経験・人脈を活用し、日本を底辺で支えている中小・ベンチャー企業を応援します。

人生90年と云われる時代、定年退職者が定年後の人生を、活き活きと心身共に健康に過ごすことは、現在我が国における大きな社会的課題の一つとなっています。



エルダーにとってのESの魅力

- ・定年後の自分探し、生き甲斐探し。
- ・自分の裁量(組織の圧力なしで)で自由に働き小遣いを稼ぐ→独立・自営の精神。
- ・ネットビジネスを目指していますので、勤務時間に制限はない、定年もない。好きなとき好きなことを好きなだけ!
- ・仲間との交流(社会との接触)の場が出来る。

法人にとってのESの魅力

- ・企業で活躍した経験豊富なエルダーに、 各種支援を受けられる。
- ・NPOによるボランティア精神なので、費用は、他の人材派遣会社やコンサルタント会社より大幅に安い。

参加費用

年会費は不要です。必要なのは登録料だけですが、加入当初は必要ありません。ESで最初に報酬を得た時、個人正会員は5千円、法人正会員は2万円納めて頂きます。

"定年退職後の生き甲斐探しの旅"

NPO法人エルダーシステム

のご紹介

2014年12月12日 パシフコ横浜展示会場 NPO法人エルダーシステム 理事長 杉村 至

目次

- 1. 杉村至の略歴
- 2. NPO法人エルダーシテムについて
- 2-1 創設の経緯
- 2-2 社会的ミッション
- 2-3 目指して来たこと
- 2-4 会員制度
- ・会費と登録料の説明
- ・主要メンバー(カード型)
- 2-5 主な活動
- •販売支援
- アドバイザリ支援
- ビジネスよろず相談ボタン
- 3.境界技術研究会紹介
- 4. シニア・アーティスト・クラブSACの紹介
- 5. 今後の課題
- 6. その他
- ・パンフレット
- 最新版メルマガ

1. 杉村 至(すぎむらいたる)自己紹介

- 1)出身地 高知県
- 2)生年 1940年
- 3)略歴
- 1964年 静岡大学工学部化学工学科卒業
- 1964年~1972年 旭電化工業(株) 工場施設の保全
- 1972年~1992年 東洋エンジニアリング(株) プラント設計建設、海外
- 1992年~2012年 (株)日本能率協会コンサルティング 新事業・新製品開発"提携による 新製品開発プログラム"
- 2008年~ NPO法人エルダーシステム創設 ベンチャー企業支援
- 4) 趣味ほか
- 山歩き
- テニス
- 囲碁
- "何もないところに何かを創る"のが好き。

事例として、静岡大学のボート部OB会、同好会、NPO法人エルダーシステムなど

2-1 創設の経緯

- 私が、この NPO のコンセプトを思い付いたのは、今から13年くらい 前で、私が 60歳をちょっと 過ぎた頃で、(株)日本能率協会コンサルティングのコンサルを していまし た。
- 大学同期なども続々と定年退職になり、同期会においても"まだ元気なのに何かないか"みたいな雰囲気が漂っていました。
- また、その当時、"団塊の世代"がマスコミの話題にのぼり、近い将来多量の定年退職者が出現し、放置するのは大きな社会的損失だと言う論調で、官民挙げて"どう活用すれば良いか"と色んな組織や企業が作られましたが、今一、定年退職者の真のニーズにミートしてないと言うのが当時からの一致する評価でした。
- 私が発起人になり、7人の賛同者を集めて、2007年秋から毎月第4土曜日に"四土会"と称して会合を実施し準備を行いました。10ヶ月の後、2008年8月に、東京都に正式認可され、NPO法人エルダーシステムが発足しました。集まる場所もないので、都内の喫茶店とかレンタル会議室を使い、足代を含め費用はすべ参加者の自腹によるもので、これらの方の、ボランティア精神と尽力がなければ、今のNPO法人エルダーシステムは存在しなかったと思います。

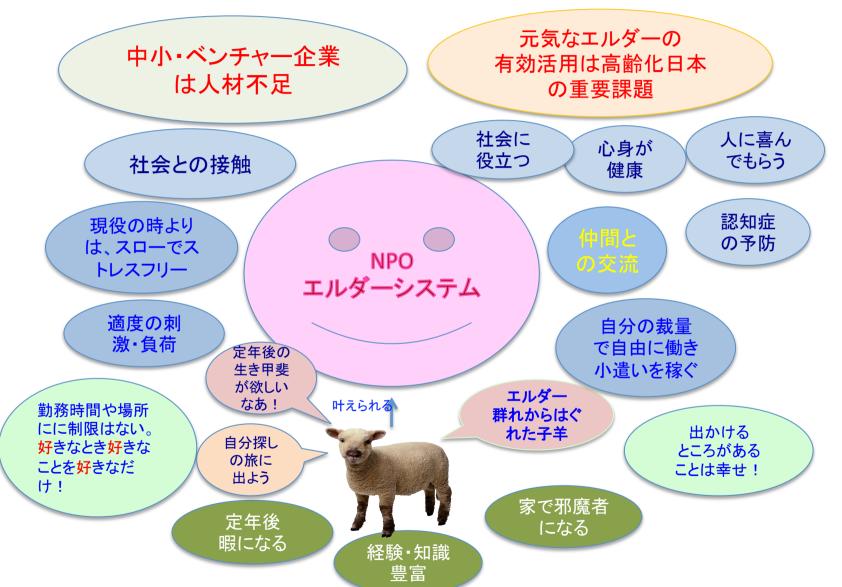
2-2 社会的ミッション

- "エルダー"という言葉には年長者と言う意味と先輩と言う意味がありますが、社会的ミッションは短く言えば"定年退職者の生き甲斐探しと社会貢献"ということです。
- ・ "エルダー"の持っている知識や経験で人材不足の技術開発型ベン チャー企業の支援を行うのが社会貢献の一つと考えました。
- ESは、創設以来すべて一からの試行錯誤の繰り返しでした。昨年の8月で創設5周年を迎えましたが、まだまだあらゆる基盤が極めて脆弱で"よちよち歩き"の域を出ていません。メンバーの皆様の献身的ご尽力によって、やっと維持されているのが実情です。

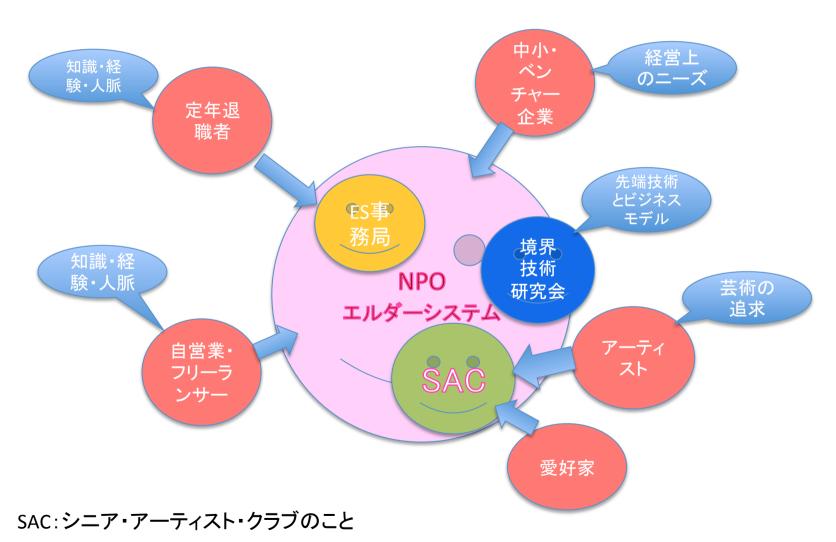
2-3 目指して来たこと

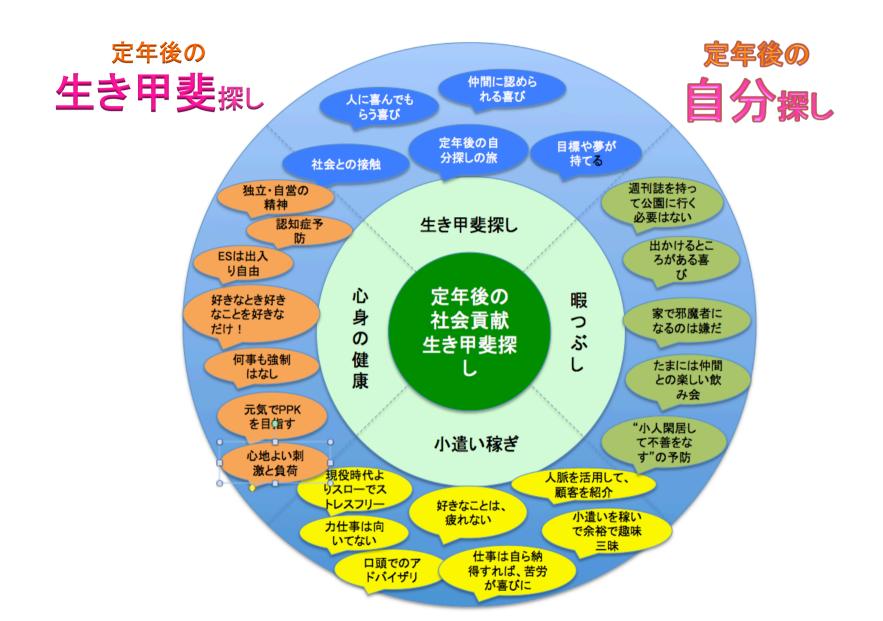
- <u>ネットビジネス</u>:ネット上に"エルダー"と"中小ベンチャー"の出会いの場を提供すると共に、"エルダー"には生き甲斐を提供する。 ネットだと自宅から参加出来るので通勤地獄から解放されるし、勤務時間の 枠も、定年もない。
- 情報は只という常識に挑戦してきました。
- ストレスフリーの環境を提供する:3S ルールの遵守(好きなことを、好きなと きに、好きなだけ)。
- "さん"呼び運動を推進し、よくある縦型組織でなく、フラットな組織環境を目指してきました。
- 半端も集まれば、大きい力となる。発達した情報通信技術を活用すれば、 各人の半端な時間、頭脳、能力、資金でさえ、一定の方向づけを行うことに より、大きな力に集約出来る。あちこち散らばっているメンバーの半端な力を つなぎ合わせて、一つの大きな流れにしようと試みてきました。
- 仕事の進め方はプロジェクト方式としました。

NPOエルダーシステムのコンセプト図



Web上に"集いの場"を提供する

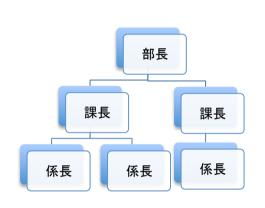


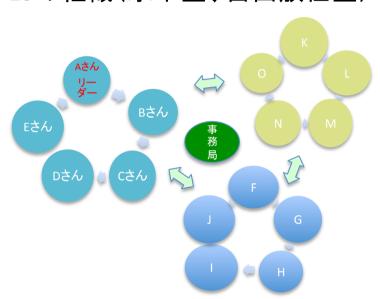


働き方の違い

通常の企業(縦型、管理型)

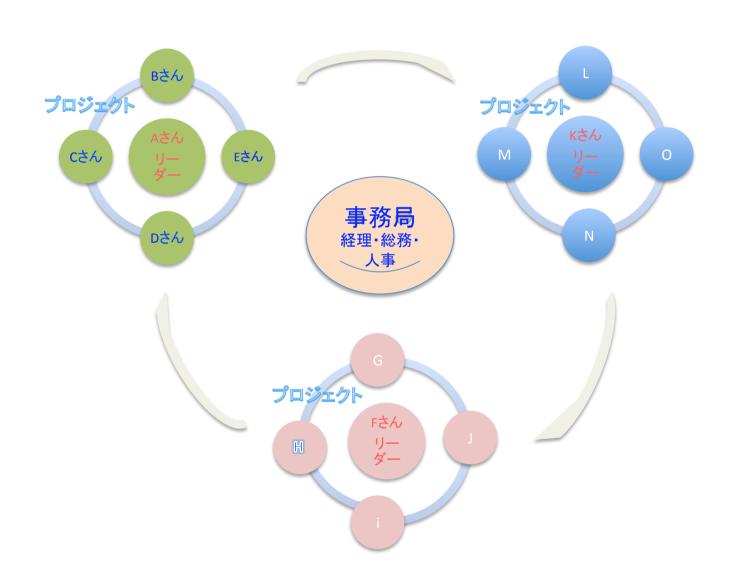
ESの組織(水平型、自由放任型)



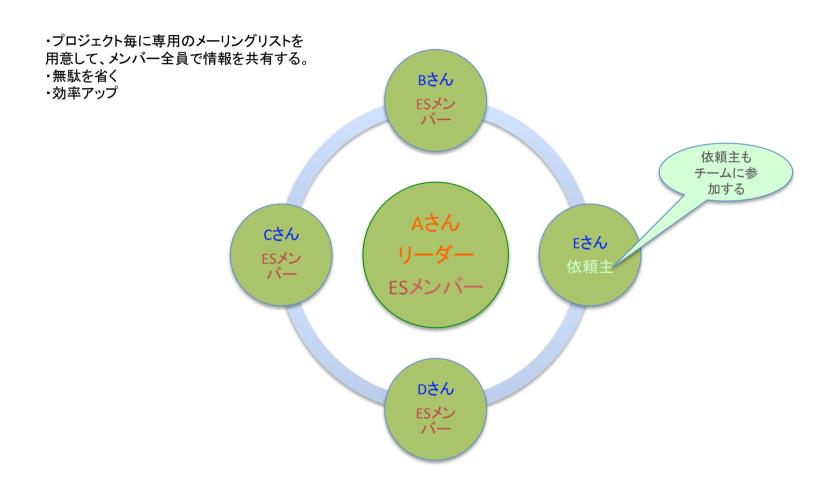


		会社	ES
1	管理	縦型で何事も上司の承諾がいる。	極めて少ない、上下でなく横のネットワークで自由に活動。
2	勤務時間	会社の勤務規則に従う	自己裁量、完全フレックスタイム
3	勤務場所	固定した建物と部屋	何処からでも自由自在
4	仕事の内容	上司と相談	自分で決める
5	給与	自分では決められない	自分で決める
6	税金対策	会社が処理	自分で確定申告する

ESの組織(プロジェクト方式、水平型、自由型)



販売支援PJメンバー構成



働き方の3Sルール

すきなことを すきなときに すきなだけ

2-4 会員制度

会費や登録料に関する情報←

نه

42	個人会員↩		法人会員↩		42
ته	会員↩	正会員↩	会員↩	正会員↩	42
入会金↩	0円 ↩	0円 ₽	0円 ₽	0円 ₽	ته
年会費↩	0円 ↩	0円 ₽	0円 ₽	0円 ₽	£,
登録料*-1↩	0円 ↩	5,000円 🕫	0円 ₽	20,000円 🕫	t)

^{*-1:}登録料は、入会時に納入するのを原則とするが、ESで仕事をし、最初に収入を得た時に納めることも出来る。↓

2-5 目下実施中のプロジェクト

• 販売支援: 顧客紹介(成功報酬で紹介料)

事例:

- 1)アトリエYoshioの銅版画
- 2) 落雷抑制システムズ(株): 新型避雷システム
- 3) サンポール: "反射くん"簡易駐車場運営システム
- 4)パルステック工業:残留応力測定装置
- 5) (有) 真コーポレーション: 携帯トイレ

アドバイザリ(コンサルティング)

事例:

- 1)(株)リーディング・イノベーション:セミナー講師
- 2)(株)日本能率協会コンサルティング:ニーズヒヤリング先紹介
- 3)日本バルカー工業(株):新シール材用途開発

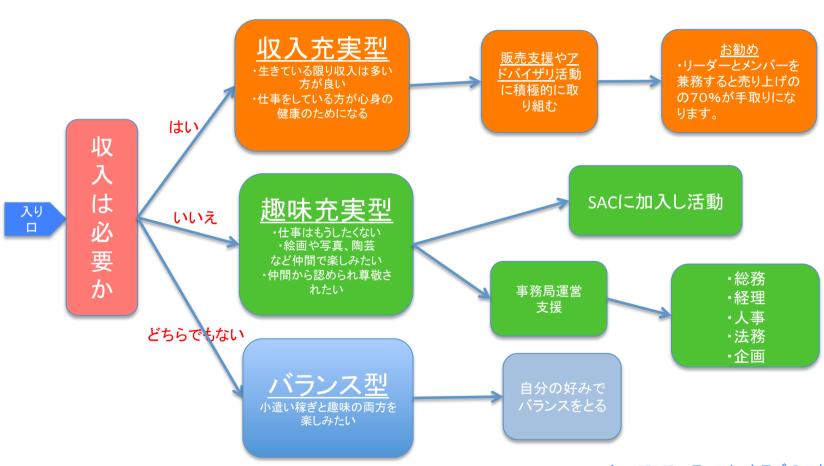
5 今後の課題

- 将来、理事長などは報酬付きにしないとやる人がいないかもしれない
- プロジェクトリーダーを育てる
- ホームページの更新メンテの充実
- ・ 会員獲得(家庭にいる女性の社会貢献も支援する)
- 顧客獲得
- ・企業の人事部と連携して、定年退職後の選択肢の 一つとして活用して頂く

人が生きる為に最低必要なものは、 希望とサムマネー -チャップリン-

生き甲斐探しの旅 自分が一番居心地の良い場所を探す

エルダーシステム案内マップ



SAC:シニア・アーティスト・クラブのこと

参照する資料

- ・メルマガ事例 →Googleドライブ/Mweシニア会資料
- ・境界技術研究会最近の事例→Googleドライブ/Mweシニア会資料
- ・活動実績→Googleドライブ/Mweシニア会資料
- ・主要メンバー名簿(カード型)